

平成22年度第6回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 平成23年3月17日（木）午後3時～4時40分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員 10名（欠席2名） 傍聴者：なし
事務局：中央図書館長、館長補佐兼庶務係長、館長補佐兼調査係長
サービス係長、資料係長、津田図書館長

4 配布資料

- ・小平市立図書館行事等の報告と今後の予定（資料No.1）
- ・平成22年度月別館別貸出状況（資料No.2）
- ・広域利用市別貸出状況（資料No.3）
- ・ブックリサイクル実施状況（資料No.4）
- ・ハンディキャップサービスのごあんない
- ・御用留内容目録3（小川村 上巻）
- ・仲町公民館・仲町図書館改築に伴う基本設計について（資料No.5）
- ・平成23年度 小平市立図書館事業計画（案）（協議資料1）
- ・平成23年度 図書館協議会開催日程（案）（協議資料2）

☆開会前報告内容

<3月11日（金）発生の東北地方太平洋沖地震に伴う内容>

- ・当日は休館日のため利用者はいなかった。
- ・書架が倒れた館はない。
- ・本が落ちたのは中央図書館で2冊程度あったが、他館もほとんどない。
- ・花小金井図書館で若干亀裂が発生、津田図書館おはなし室のガラスブロック2個が破損した。
- ・4月16日までは10時から17時まで時間を短縮して開館していた。ただし、照明は必要最小限とし、システム保安上の点で停電前に機器をダウンさせたためその時間帯は館内閲覧のみとした。
- ・3月19日（土）から31日（木）まで図書館を含め、公民館・地域センター等の公共施設は全て休館になる。主な理由は節電及び職員の緊急応援体制を組むため。
- ・休館中は必要最小限の職員を残し、それ以外は災害対策本部への応援となる。

5 議題等

(1) 報告事項

①図書館運営状況について

- ・図書館行事等の報告と今後の予定について（資料No.1）

- 1月28日 第十三小学校職場体験 6年生 5人 小川西町図書館
- 1月31日 第八小学校 まち探検 ～2月2日 花小金井図書館
- 2月 5日 大活字本の展示～24日 中央図書館
- 2月12日 民話講座① 「カリジェの絵本とスイスの習俗～『ウルスリの
すず』の舞台と物語の背景～」 岡部由紀子 59人
- 2月19日 民話講座② 「カリジェの絵本とスイスの習俗～『フルリーナ
と山の鳥』とアルムの暮らし～」 岡部由紀子 47人
- 2月26日 民話講座③ 「カリジェの絵本とスイスの習俗～鈴の音が響く
スイスの仮面祭～」 岡部由紀子 48人
- 3月 7日 学校図書館ボランティア講座
- 3月10日 障害者サービス交流会 中央図書館
- ☆3月26日の「子ども科学講演会」と29日の「小学校調べ方教室」は休館のため中止になる。

②平成22年度月別館別貸出状況（資料No.2）

2月末現在、昨年同期比の貸出数で9,000点程度減少している、大きいのは仲町図書館で約7,000点減少している。増えているのは、津田図書館、小川分室である。登録者数は、昨年同期比で494人の減、貸出者数は約4,000人程増えている。利用状況については地震の影響等を考慮すると昨年度よりは若干減少すると予想される。

③広域利用市別貸出状況（資料No.3）

昨年同期比で貸出者数は主に市内だが、約4,000人の増、貸出資料数は約9,000点減少している。東村山が貸出者数は約900人減、貸出資料数は約2,800点減少しているが、全体的には東村山市が多い。

④ブックリサイクル実施状況（資料No.4）

今年も好評で、リサイクル提供冊数は48,231冊、リサイクル冊数は43,593冊で、リサイクル冊数は90.4%で昨年比では若干減少している。

⑤障害者サービスについて

図書館で行っているハンディキャップサービスについての冊子がまとまった。この冊子は関係各課にも配布済みで、この録音版も作成予定で進めている。障害者サービスについては若干拡充する方向でいる。具体的には国からの「住民生活に光をそそぐ交付金」があり、23年度にデージー図書20点、デジタル録音機1台等を購入する。また、24時間テレビの寄贈があり、品目は拡大読書器、デージー再生機、デージー図書セット、音声パソコン、デジタル録音機、CDコピー機、大活字本の子ども絵本セット等である。さらにソフト面では、職員が朗読の講習会を受講し、職員を育てながら朗読ボラ

ンティアを活用できるよう、対面朗読を強化したい。

⑥御用留内容目録3（小川村 上巻）について

139冊の小川家御用留目録のうち86冊の内容が記載されており、市内の図書館で閲覧・貸出しを行うとともに、図書館、ふるさと村、市の資料コーナーにおいて1,000円で販売している。

⑦3月市議会定例会について

一般質問で図書館に関するものは3件あった。

1件目は「市立図書館の図書にICタグの導入をすべき」、2件目は「マニフェスト2に記載されている施策の進捗状況の中で国分寺市との相互利用についてについて」、3件目は「市民が利用しやすい図書館を目指して」。

また、「予算特別委員会」では、委員から「建替後の仲町図書館の貸出ボックスについて」、「ウェブ図書館の導入について」、「建替後の仲町図書館に係る基本設計での市民意見の取入れについて」、「ICタグの導入に伴う電磁波について」、「小学校の協力員に係る学習を充実させる施策について」、の質問をいただいた。

⑧小平市図書館協議会公募委員選考結果について

来期の選考があり、募集5人のところ応募が15人あった。テーマは「これからの図書館に求められる役割について」という作文を提出していただいた。2月10日の選考審査会で決定した。

⑨仲町公民館・仲町図書館改築に伴う基本設計について（資料No.5）

[会議室内中央に予定建築物の模型あり]

3月12日に住民説明会を開催した。当日は約30名の方が参加された。内容としては、配布資料にある12月の説明会の「意見、要望のまとめ」と6月に実施した「パブリックコメントの対応状況」について説明を行った。また、事業者からは平面図を用いて基本設計の説明があった。

外観等は模型を参考にさせていただきたい。

(2) 協議事項

①平成23年度 小平市立図書館事業計画（案）（協議資料1）

昨年度と変更点について説明する。

基本方針の国の動向に「住民生活に光をそそぐ交付金」が創設され図書館への支援がなされることを入れた。

推進事項の主な事業では、リクエストサービスの拡充として、23年度中に予約件数の上限を5冊から10冊に変更し、それに伴い一定期間延滞がある利用者に対する貸出、リクエスト受付の制限措置を予定している。

また、障害者サービスの充実や仲町図書館の建替えのための実施設計と休館

の準備を行う。

実施事業では、映像資料の貸出についての検討、「第2次小平市子ども読書活動推進計画」の進捗状況を図書館ホームページに公表、小・中学校との連携推進として「学校図書館の活用支援」を追加、障害者・高齢者サービスにおけるデジタイズ図書の購入、図書館ボランティア活動に「リーフレットの整理」を追加した。また、施設の運営管理では、仲町図書館資料を有効活用するため中央図書館地下倉庫への書架増設工事や緊急雇用創出事業として、東部・西部市民センター駐車場・自転車駐車場の管理委託を行う。さらに、「図書館探検ツアー」の実施や多摩地域において開催される全国図書館大会への協力を行う。

②平成23年度 図書館協議会開催日程（案）（協議資料2）

奇数月に6回、木曜日、午後2時から4時30分で開催予定。

<報告事項・協議事項についての質疑・応答>

委員：事業計画の2（1）①「地域の情報拠点として大きな役割を果たすために、地域資料・情報の充実と情報発信を進めます。」とは具体的には何か。

事務局：従来どおり地域の情報拠点としての役割を果たしていきたいということである。

委員：事業計画の3（17）①「リーフレットの整理」とは花小金井図書館が行っていた広告の整理のことか。

事務局：そのとおりで、現在は職員が行っている作業をボランティアへ移す。

委員：中央図書館地下書架は移動式か。

事務局：移動式ではあるが手動で動かすものである。

委員：建替後の仲町図書館の完成時期を教えてください。

事務局：開館は、平成26年6月頃を予定している。

委員：ハンディキャップサービスの利用人数を教えてください。

事務局：ハンディキャップサービス用として、CD等の資料の貸出件数の統計はとっていないが、郵送貸出の統計は平成21年度で個人が17人、149タイトル、709件の貸出を、その他に点字資料を3人の方に169点貸出を行った。

委員：建替後の仲町図書館は地下に書庫を設置する予定だが、コンクリートによる湿気は図書に悪影響があるので、乾燥させてから搬入するなど留意する必要があると思う。

委員：建替後の仲町図書館の塗装について、ひび割れが発生することも留意する必要があると思う。

委員：建替後の仲町図書館に現在設置してある防災無線を設置するか。
事務局：未定である。

委員：建替後の仲町図書館の植栽について、樹木の種類によっては落葉の清掃費等、年間維持費が100万円くらい想定されるので、植栽の種類、地盤の深さなどを慎重に検討する必要がある。

委員：植栽をする場合、外来樹などこの地域になかったものは使わないほうが良い。

委員：事業計画の中で電子図書について、どう対応していくのか記載してほしい。

事務局：計画の中に入れていきたい。

委員：事業計画の確定時期はいつか。

事務局：本日の協議会での意見等を修正し、今年度中に確定する。

委員：事業計画の3(6)⑦「ビジネス支援コーナーの運営」について、もう一歩進めて何かできないか。

事務局：産業振興課との連携等を強化しながら検討したい。

委員：「ひきこもり対策」として図書館ができることはないか。

事務局：居場所としての図書館にシフトしつつあるが、部屋の確保の関係もあり、現況では具体的な対応は難しい。

委員：いろいろな人の居場所づくりとして、運用の中でどこか一言入れられれば良いのではないか。

委員：議会質問でウェブ図書館についてのものがあつたが、どのレベルを想定しているのか。また、現在、延滞利用者に利用制限をしなかった理由が何かあるのか。

事務局：ウェブ図書館について、千代田区に例があり、自宅で閲覧が可能なサービスなどになるが、まだコンテンツが不足している状況があり、今後も注視していきたい。また、利用制限については従来からできる限り自由に利用してもらうという視点とカウンターでの問い合わせや電話、ハガキによる督促をおこなっていることから実施しなかった。

委員：予約上限冊数を何冊に増やす予定か。

事務局：23年度中に10冊にする予定である。

委員：貸出の上限が10冊、2週間を変更できないか。

事務局：延長等の対応もあるので現在では考えていない。

委員：事業計画3(1)図書館協議会の開催の中で、議事はどこかに掲載されているのか。

事務局：結果報告として事業概要に掲載している。

委員：「図書館への意見」・「市長への手紙」の内容を知りたい。

事務局：まとめているので機会を見て報告する。

委員：以上の意見を集約して事業計画を正式なものにしてほしい。

6 その他

①小平市立図書館の選書基準について

委員：現行の選書基準に係る要綱等は、作成後相当経過し、広域利用、ウェブ予約など状況が変化している。平成版選書基準として改正したらどうか。つまり、利用図書の実態調査からニーズを把握して図書をどのように選ぶのか、1年に一度そのようなフィードバックをして、次年度に活かすことや3～5年の中期計画を立てるなど、見直していく必要がある。

また、選書の分担表の中にどのような人が何年間あたっているのか、明らかにしてもらいたい。「利用者のニーズに応えられるような、選書基準にのっとった資料の選定」を来年度のテーマにしてはどうか。

委員：新刊コーナーの本などがどういう方法で購入されているのか、この協議会で報告があると良い。

会長：次期の報告のやり方を考えていただきたい。

委員：児童書の課題図書、緑陰図書について、全く購入しないものもあれば、16冊も購入し貸出がほとんどない本がある。やはり選書に工夫が必要ではないか。

委員：児童書の選書の中で課題図書などは、1つの民間機関が選定しているもので、必ずしも図書館がそれを全部購入しなくても良い。その中で図書館の選書担当が責任を持って選んでいると理解してよろしいのではないか。

委員：基準を作り、それを大枠にあてはめることは良いが、それが全てではないので、運用には気をつけてもらいたい。

委員：図書館は課題図書を意識せず選書していると感じる。課題図書は別に図書館でそろえておくべきものではない。

会長：選書については、図書館の中で専門の人が集まって全部目を通して選書しているので、その後は図書館協力員、相談員などがそれをどう使ってもらえるかが、次のやり方ではないか。選書のやり方だけでなく、その利用方法をどう広報していくかではないか。協議会の報告の中でももう少し細かな部分でフィードバックしてもらえれば、ということでこれは次期に期待したい。

委員：計画停電中に図書館のホームページにアクセスできない。そのアナウンスができる仮の場所ができれば、混乱が少なくなるのではないか。

事務局：システムをダウンさせるので利用できない状態にある。

委員：現在、計画停電中は、アクセスできないが「現在は計画停電中のためウェブは利用ができません」の表示のみでも何らかの方法でできないか。

事務局：市のホームページであらかじめお知らせしているが、計画停電中の表示については、技術的に可能なのかということもあり、早急な対応は難しいかもしれない。

－ 閉 会 後 －

研究課題の検討

会 長：前回示した「提言案」について、委員や図書館から意見をいただいたので、修正したものを本日提示した。また、3月12日の説明会の内容はホームページにアップされるのか。

事務局：アップさせる予定だが、また要録がまとまっていない。

会 長：提言案の中で意見等があれば、3月30日午前中までに連絡してほしい。

委 員：平成15年からウェブ予約ができるようになり、リクエスト冊数が飛躍的に伸びているので、「3（3）情報リテラシー」の中に何らかの形で入れてもらいたい。

委 員：「小平市図書館収集分担」の一部に誤りがあるのではないか。

会 長：一部修正する。

委 員：毎日新聞と全国学校図書館協議会の読書調査で不読書が減り、1カ月の読書冊数が増加傾向にある。「3（2）学校図書館との連携推進館としての仲町図書館」の中に入れられたらよいのではないか。

委 員：仲町図書館建替後は、ホームページで図書館と公民館の情報を同時に閲覧できるようなまとまった形になるよう期待したい。

会 長：名称についてもどうなるのかという話も出てくるのではないか。また、現在は基本設計の段階だが、その後の実施設計の中でも情報を共有しあって建替後の仲町公民館・仲町図書館をできるだけよいものにしてほしい。

委 員：設計業者にもこの提言を読んでもらった上で、実施設計を作ってもらいたい。

事務局：提言はきちんと伝える。

会 長：その後の建設事業者にも読んでもらい、話し合いをしていただきたい。また、携帯端末の普及とICタグとの関連でより利用しやすい図書館にしたいという表現の追加も考える。